ご自由に！

まちあるきマップ

西ノ島 三度(みたべ)

地図

地図 西ノ島 まちあるきマップ 三度

「正月つぁん、正月つぁん、どこまでござった。三度のカドまでござった。」という島前各地に残る古いわらべ唄にも登場する三度地区は、昔から武士や医者がいたとも伝えられており、相当な歴史を持った土地柄だと考えられています。

西ノ島のとど猟

ニホンアシカを西ノ島では「とど」と呼び、三度はとど猟の最前基地として、明治から大正にかけて捕獲されていました。
現在では、乱獲や戦争、気候変動などの原因により、1970年代の目撃情報を最後にニホンアシカは姿を消してしまいました。

天照大神降臨伝説

神代の昔、天照大神は三度(みたべ)の北にある「大神」という海の「立島」に降臨されました。この島にはこの時の「お腰掛の石」があります。やがて天照大神は三度湾に船を入れ「生石島」に上陸されました。最初この場所から海岸に目をやると人影が見え、「人のいそうもない海岸に、不思議なことだ」と、そこへ行きましたが、誰の姿もありませんでした。そうしたことが三度あり、三度目には意を決してその先の集落まで足を運んだことから、ここを「三度(みたべ)」というようになりました。人影の正体は、この場所にお迎えに出ていた猿田彦命でした。猿田彦命が天照大神を待っていたところには神社が建てられ、「待場神社」と命名され、現在まで崇拝されています。

発行 (一社)西ノ島町観光協会 TEL:08514-7-8888
企画・編集 地域おこし協力隊 2015.12
参照文献：隠岐西ノ島の今昔、運河のある町